

Seirei

青麗

1
月
号



青麗ホームページ
にアクセスしまし
う！最新情報が掲載
されています。

contents
2025 JAN

1月号 隔月発行 第2巻第1号

表II 高田正子の初学物語 7

2 年頭のご挨拶

●新連載スタート

4 青華集

二階堂光江・城下洋二・原田桂子・岩田由美・高浦銘子
松下宏民・岩上明美・金子恵美・三島広志・河辺克美

●主宰詠

14 青木村行

●特集 青麗俳句会シリーズ企画

16 青地巡礼 第1回 青木村（長野県）

……………文・広野ふえり

30 青麗集 高田正子選

49 選評と鑑賞……………高田正子

●寄稿

52 田中裕明の句とその魅力……………岩田由美

●書評

58 『黒田杏子 俳句コレクション3 雛』 ……高浦銘子

●連載 「水草の発句を読む」

60 第5回 火燧……………深沢眞二

●連載 季語と外来植物

62 第7回 タネツケバナ……………北川谷戸乃

●連載 俳句百名山

64 第7回 筑波山……………ジョニー平塚

●連載 お菓子な俳句

66 第7回 チョコレート……………さとうかしこ

67 青麗俳句会メンバーによる 句会のお知らせ

〈お知らせのページ〉

70 お知らせ

72 青麗俳句会入会案内

表III 編集後記

表紙・本文デザイン 土屋みづほ

無断転載禁止

集ひあふ三十余名天高し

先師の「杖」を継ぎ

露踏みて旅の一步をこの地より

藁塚の列にぎやかにを夫神岳かみまで特産タチアカネソバ

蕎麦の実のこのくれなゐのいづこより

草紅葉よりくれなゐの蕎麦畑

団栗を踏みてしづかに誰か来る

子檀嶺こまゆみ岳の柿より朱き夕焼空

ゑのころの金に灯りてのち暮るる

紺青の山ふところの秋の暮

遠く来て旅の仮寝の流れ星

十月十三日

湯の川も音を豊かに澄みにけり

霧に濡れ朝湯がよひの里人も

もう霽れてゐる朝霧の向う側

一乗山大法寺へ

もみぢ始まる急坂を若き記者

あをき空から櫃の実のまつすぐに

一茎のおほきく撓ふ藤袴

群れ咲きて秋海棠に水匂ふ

刈り伏せて義民の村の曼珠沙華

国宝三重塔

秋空を降り立ちたまふ御姿

厨子の扉のゆつくり開く月あかり